

# KENWOOD

デュアルサイズ 3 + 1 MDチェンジャー/CDレシーバー

## DPX-9100Mji

## DPX-8100Mji

## DPX-8070MJ

Functional Operation

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、  
説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する  
ことはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

使いこなし！

ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

## EZ Operation

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

MD Changer/CD Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP Control

Equalizer Control

FM Multi Control

EZ Operation

Options

Remote Control

Help ? Operation ? Word Help



# Contents

ここを読まなければ操作できない！  
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

## 本書の読みかた

本書の読みかた .....4

安全上のご注意 .....6

使用上のご注意 .....8

CDとMDの取り扱い .....12

ここさえ読めばひとまずOK！  
イージーオペレーション

## EZ Operation

MD、CD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた .....14

リモコンでも操作できるゾ！

## Remote Control

Remote Control .....56

Common Operation

Tuner Operation

CD/MD Operation

SNPS/DNPS Operation

FM Multi Operation (DPX-9100MJiのみ)

電池の入れかた

思ったとおりに動作しなかったとき  
わからない用語が出てきたら…  
困ったときのお助けページ！

## Help ? Operation ? Word

Help? Operation .....60

Help? Word .....69

付録

## Appendices

保証とアフターサービス .....74

仕様一覧 .....75

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

Source Selection .....16  
ソース選択

Audio Control .....16  
オーディオコントロール

Display Control .....18  
ディスプレイ表示切り替え  
ALL OFFモード中表示切り替え  
操作パネル角度調節  
アナライザーの切り替え  
ブルー・ホワイトスベアナの切り替え

Function Control .....22  
ファンクションセット  
セキュリティコード  
電話メモリーダイヤル読み込み  
電話メモリーダイヤル消去

Clock Control .....27  
時刻調整

MD Changer/CD Mode .....28  
ディスクの収納  
プラスワンプレイ  
トラックサーチ  
ディスクサーチ  
マニュアルサーチ  
ダイレクトディスクサーチ  
トラック/ディスクリピートプレイ  
トラックスキャンプレイ  
ディスクスキャンプレイ  
トラックランダムプレイ  
マガジンランダムプレイ  
タイトル/テキストスクロール

Tuner Mode .....34  
バンド切り替え  
チューニング  
マニュアルメモリー  
オートメモリー  
プリセットチューニング

Name Set .....36  
DNPS (ディスクネームプリセット) /  
SNPS (ステーションネームプリセット)  
漢字の入力

DSP Control .....	38
DSPシステム	
DSPの設定	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
Equalizer Control .....	42
イコライザーカーブの選択	
イコライザーカーブの調節	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
FM Multi Control (DPX-9100MJiのみ) .....	44
FM多重システム	
FM多重継続受信	
チューニング	
FM文字多重番組の選択	
FM文字情報オートスクロール	
情報ページメモリー	
メモリーページ呼び出し	

オプションも使いこなそう！ オプションズ

## Options

External Disc Control .....	48
ディスクサーチ	
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
ダイレクトディスクサーチ	
トラック/ディスクリピートプレイ	
トラックスキャンプレイ	
ディスクスキャンプレイ	
トラックランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
タイトル/テキストスクロール	
TelephoneControl	
(DPX-9100MJi/8100MJiのみ) .....	52
ハンズフリーで電話をかける	
ハンズフリーで電話を受ける	
プライベート通話	
受話音量の調節	
プリセットダイヤルメモリー	

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

MD Changer/CD Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP Control

Equalizer Control

FM Multi Control

Options

Remote Control

Help

# 本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!  
イーザーオペレーション

## EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

## Options

## Help

? Operation

? Word

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

マニュアルやディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control] などがあります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。なお、DPX-9100MJとDPX-8100MJ、DPX-8070MJの操作方法が同じところでは、DPX-9100MJの操作パネルにて表示・説明してあります。

## 本文でのマークについて



### 共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



### ディスクの操作

MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。



### チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



### 注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



### メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

### 1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

### ジョイスティックを動かす

ジョイスティックを矢印の方向へ動かす操作を表します。



左の例では、ジョイスティックを左右に動かす操作を表しています。

### 短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



A

この辺ボタンABC…  
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

B C D

## ・イコライザーモードの選択

イコライザーカーブを呼び出します

### 1 イコライザーコントロールモード

D



EQ調整モード

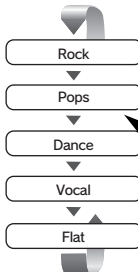
ディスプレイ表示  
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

### 2 イコライザーカーブを選択します

B



押すたびに次の順で切り替わります



ロック

ポップス

ダンス

ボーカル

フラット

ディスプレイ表示  
スクロール  
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

内容の説明

表示される文字または内容

### 3 イコライザーコントロールモードを終了します

C



または、約10秒間以上、なにも操作しない

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

MD Changer/CD Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP Control

Equalizer Control

FM Multi Control

Options

Remote Control

Help

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」  
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

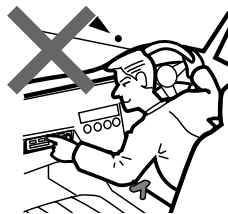
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



## 警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- 音量調節などのカーオーディオの操作
- FM多重放送の文字情報の閲読



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

本機のハンズフリー通話機能を使用することにより、車の運転にはほとんど影響なく通話が可能となりますが、通話中は車の運転に集中できず前方が不注意となります。通話が長くなるときなどは、安全な場所に停車してから通話をしてください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



**禁止**

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



**禁止**

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

## 注意



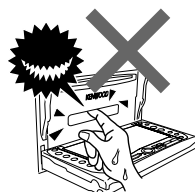
**禁止**



操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



**禁止**



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



**禁止**

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

# 使用上のご注意

## 本機に接続する ディスクチェンジャーについて

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30, およびKMD-C80は直接接続することができます。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, またはKMD-C30を接続した場合、これらのディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。また、CDテキスト表示は上記CDチェンジャーでのみ行えます。

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記載されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのCDの合計で100枚まで記憶することができます。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

## 接続する携帯電話について (DPX-9100MJi/8100MJiのみ)

本機に携帯電話を接続することによりハンズフリー通話機能が使用できます。携帯電話の接続には別売品の“CA-HF100”または“CA-HF200”が必要です。

本機に接続できる携帯電話の機種はカタログをご覧ください（接続・使用可能な携帯電話の中にも、機種により一部不適切な表示や動作をする場合があります）。なお、改造などを施した携帯電話では使用できないことがあります。

使用する携帯電話は、以下の設定をオフにしてから接続してください。

- ボタン操作確認音（“ピッ”音）
- 携帯電話本体にメッセージを記憶する留守番電話機能
- ドライブモード機能
- 自動着信機能
- オートロック機能

本機への携帯電話接続手順

1. 本機の電源をオンにする。
2. 携帯電話の電源をオフにする。
3. 携帯電話の外部接続端子をCA-HF100/HF200に接続する。



本機は上記以外の手順で携帯電話を接続しても、接続されていると認識できません。正しく接続されると本機のインジケータが点灯または点滅します。

携帯電話を接続すると、携帯電話の電源は自動的にオンになります。本機の電源がオンのときは、接続している携帯電話をオフにすることはできません。

また、本機と接続されている携帯電話とは常に通信状態にあるため、携帯電話の電池の消費が通常より多くなります。

なお、CA-HF100/HF200は携帯電話に電源を供給していません。



●  
携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込んでいないと、ハンズフリー機能を使用して電話をかけることはできません。この状態のとき、 インジケーターが点滅します。メモリーダイヤルを本機に読み込むと  インジケーターは点灯に変わります。(メモリーダイヤルの読み込み方法は26ページを参照してください)

なお、読み込んだメモリーダイヤルは、携帯電話をはずしても本機に記憶されています。

●  
携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込むときは、携帯電話の電源が途中で切れないようにフル充電をして、本機の電源も読み込み中に切らないようにしてください。読み込み中に電源が切れると本機のダイヤルメモリー内容はすべて消去されます。

●  
携帯電話のメモリーダイヤルを読み込み中は本機  
の操作はしないでください。携帯電話も着信以外  
の操作はしないでください。  
また、読み込み中に着信したときは通話が終了後  
に読み込み動作が自動的に再開されます。この場  
合、指定した番号からすべて読み込み直します。

●  
本機のハンズフリー通話機能では、割り込み通話  
や三者通話を利用できません。このような通話を  
するときは、安全な場所に停車した後、携帯電話  
をCA-HF100/HF200から取り外してから、携帯電  
話で操作してください。

●  
携帯電話のインターネット機能やメール機能を使  
用するときは、携帯電話をCA-HF100/HF200から  
取り外してください。CA-HF100/HF200に携帯電  
話を接続したままでは、これらの機能が正常に動  
作しない場合があります。

●  
接続している携帯電話によっては、本機から電話  
をかけた場合に、携帯電話の発信履歴に電話番号  
が記憶されない場合があります。

## ハンズフリー通話機能について (DPX-9100MJi/8100MJiの み)

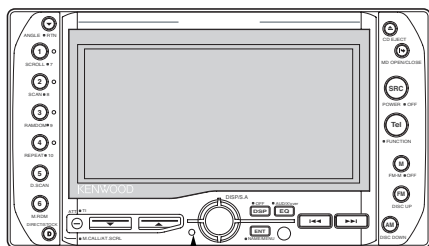
携帯電話より読み込んだ電話番号は、リセットボ  
タンを押したり、本機をバッテリーから外すと消  
去されます。このようなときは携帯電話より電話  
番号を再度読み込んでください。

●  
携帯電話の電波受信レベルが低いときや、車の走行  
ノイズが大きいときは、通話している双方ともに相  
手の音声が聞き取りづらくなる場合があります。

# 使用上のご注意

## セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.60)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- MDやCDが取り出せない。
- MDやCDを正しく入れ直してもボタンやインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“Aux Mode”と表示される。
- KCA-S210Aが接続されていないときに“Aux Mode”と表示される。

操作パネルがスライドした状態のときに異常が起こり閉じられない場合は、操作パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

## 結露について

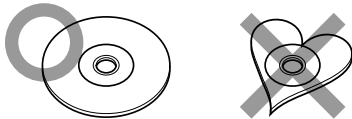
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

## 使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



●  
マークの付いていないCDは使用しないでください。

●  
ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●  
レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

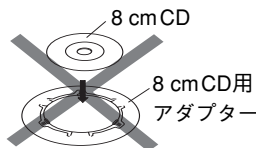
## CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



●  
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



## データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

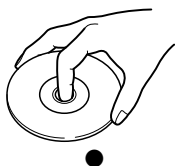
## ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

# CDとMDの取り扱い

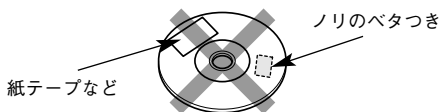
## CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い  
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが  
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ  
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。  
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ  
などにも書かれています。それらの注意事項も読  
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テ  
ープなどを貼らないでください。  
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど  
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは  
お使いにならないでください。そのままCDプレー  
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障  
することがあります。



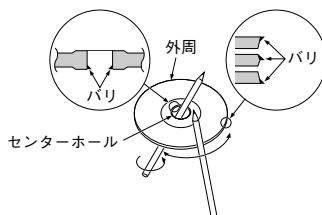
## CDの保存

直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの  
上)など、温度が高い場所には置かないでください。  
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、  
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時  
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し  
て、ケースに入れて保管してください。  
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース  
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保  
存しないでください。

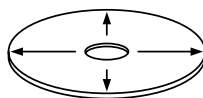
## 新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや  
外周部に"バリ"がないことを確認してください。  
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入でき  
なかったり音飛びの原因になります。"バリ"がある  
ときは、ボールペンなどで取り除いてから使用し  
てください。



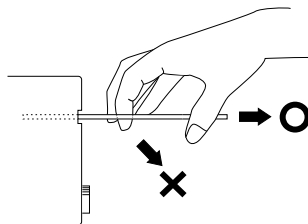
## CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや  
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ  
て軽くふき取ってください。  
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン  
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで  
ください。



## CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出し  
てください。  
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷  
を付ける原因となります。



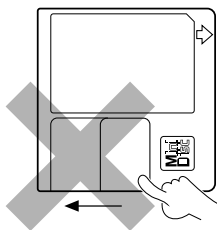
## MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

## MDのシャッターについて

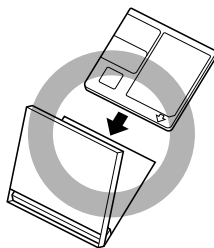
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



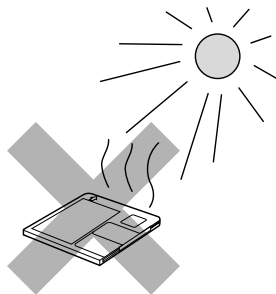
## 保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



## 高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



## ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



### MDをプレイするときは…

- ① を押して操作パネルを開き、プレイするMDを差し込みます。差し込んだMDがプレイされます。
- ② をもう一度押すとパネルは閉じます。
- MDがプレイポジション（MDの再生場所）にあるときにMDを差し込むと、差し込んだMDはプレイせずにストックポジション（MDの収納場所）に収納されます。



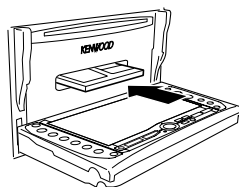
### MDを取り出すときは…

- ① を押して操作パネルをスライドさせ、取り出すMDの番号のボタン（①～③）を押します。
- プレイ中のMDを取り出すとFM/AM放送を受信、またはAll Offになります。



### チェンジャーにMDを収納するときは…

- MDのプレイ中にMDを差し込みます。
- 空いているストックポジション（MDの収納場所）の一番小さい番号から順に、プレイポジションのMDを含めて合計3枚まで収納されます。
- ② をもう一度押すとパネルは閉じます。
- MDがプレイポジション（MDの再生場所）にないときにMDを差し込むと、差し込んだMDはストックポジション（MDの収納場所）に収納されずにプレイされます。



本機ではMDを3枚まで挿入してディスクチェンジプレイを楽しむことができます。  
またMDがすでに3枚挿入されているときでも、4枚目のMDを差し込んでシングルMDプレーヤーとして活用することもできます。（プラスワンプレイ※29ページ）

- 操作パネルをスライドさせた状態で可能な操作は、ディスクの挿入、イジェクト、音量、ソース選択、ハンズフリー受信などだけです。
- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。




### 音量を上げます。



### 音量を下げます。



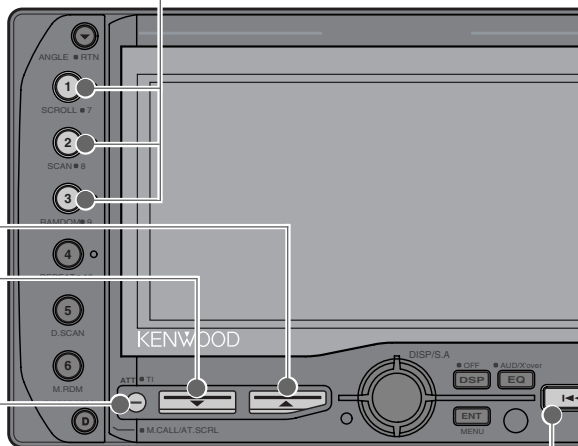
### 音量を素早く下げます。

もう一度押すか、を押すと元の音量に戻ります。



### 1秒以上押すと、交通情報を受信します。

もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。



- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



### プレイする曲を選びます。



### 交通情報の周波数を選びます。



**受信する放送局を選びます。**  
AUTOインジケーターが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。  
AUTOインジケーターが消えているときは周波数が1ステップ変わります。（ファンクションセット※22ページ）



CDの操作



チューナーの操作



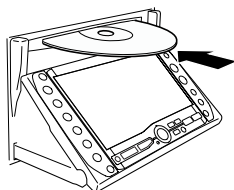
共通の操作

**CDをプレイするときは…**

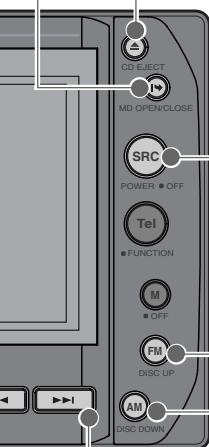
⏮を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするCDを差し込みます。  
CDが引き込まれ、パネルが開まります。

**CDを取り出すときは…**

⏮を押します。  
操作パネルがスライドして、CDがイジェクトされます。  
⏮をもう一度押すとパネルは閉じます。



CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで⏮を押し続けてください。

**電源をオン/オフします。**

押すと電源がオンになります。  
1秒以上押すと、電源がオフになります。

**MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。**

ディスクが入っているときに押すと、MD、CD、FM/AM放送、All Offが切り替わります。

**次のMDにチェンジします。****FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。****前のMDにチェンジします。****AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。**

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

MD Changer/CD Mode

Tuner Mode

Name Set

DSP Control

Equalizer Control

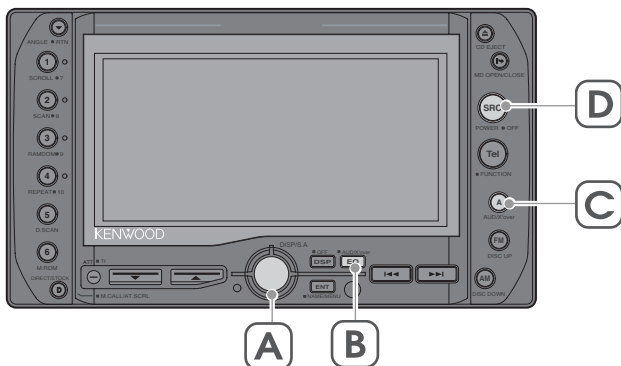
FM Multi

Options

Remote Control

Help

# Source Selection / Audio Control



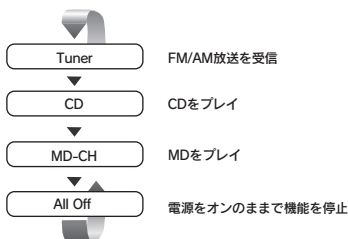
## ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

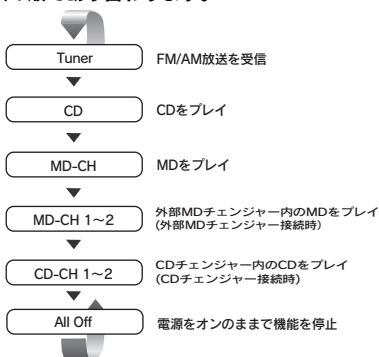
D



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



## オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

### 1 オーディオ調整モードにします

DPX-9100MJの場合

B



オーディオ調整モード

“オーディオ調整モード”と表示されるまで押し続けます。

DPX-8100MJ/8070MJの場合

C



AUDIO CTRL

オーディオコントロールはAll Offモード以外のモード中に設定できます。

### 2 設定モードを選びます

DPX-9100MJの場合

B



クロスオーバー調整モード

DPX-8100MJ/8070MJの場合

C



X'over CTRL

押すたびにオーディオ調整モードとクロスオーバー調整モードとに切り替わります。

### 3 設定する項目を選択します

A





プレイするソースを選びます。  
また、音量バランスの調節やサブウーファー追加時のクロスオーバーネットワークの設定などをします。

#### 4 値を選択します

A



設定できる項目と値は次のとおりです。

#### オーディオ調整モード

設定項目	設定値
Balance (左右の音量バランス)	L15~00~R15
Fader (前後の音量バランス)	F15~00~R15
Non Fader [N-F] (ノンフェーダー リアウト出力レベル)	----~00~+10
Amp CTRL [Amp Cont] (外部アンプコントロール)	Off[OFF]/ 1 / 2

( [] 内はDPX-8100MJi/8070MJの表示 / 太字は初期設定値)

“Non Fader [N-F]”、“LPF”、“LPF Slope”、および  
“T-DLY NF” 設定はファンクションセット (22ページ)  
の “Preout” 項目が “N-F” に設定されている  
ときに選択できます。

#### クロスオーバー調整モード

設定項目	設定値
HPF-F (フロント低音カット)	Through[OFF]/30/60/90/ 120/150/180/250(Hz)
HPF-R (リア低音カット)	Through[OFF]/30/60/90/ 120/150/180/250(Hz)
HPF Slope (低音カットスロープ)	<b>12</b> /18/24 (dB/Oct.)
LPF (ノンフェーダー高音カット)	Through[OFF]/150/120/ 100/80/60(Hz)
LPF Slope (高音カットスロープ)	<b>12</b> /18/24 (dB/Oct.)
T-DLY F (フロント遅延時間)	Off[OFF]/0.5~18 (msec.)
T-DLY R (リア遅延時間)	Off[OFF]/0.5~18 (msec.)
T-DLY NF (ノンフェーダー遅延時間)	Off[OFF]/0.5~18 (msec.)

( [] 内はDPX-8100MJi/8070MJの表示 / 太字は初期設定値)

#### 5 オーディオ調整モードを終了します

##### DPX-9100MJiの場合

B

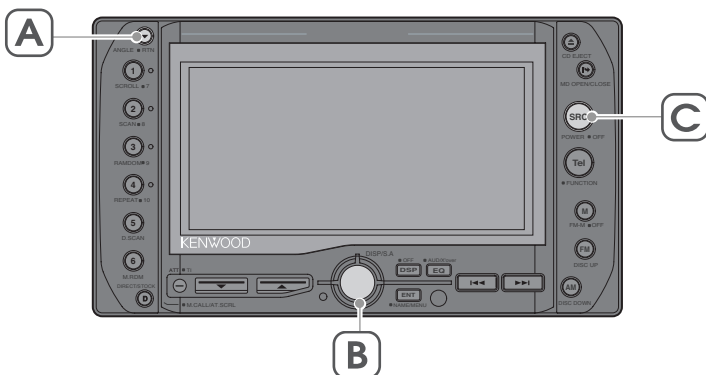


##### DPX-8100MJi/8070MJの場合

C



# Display Control



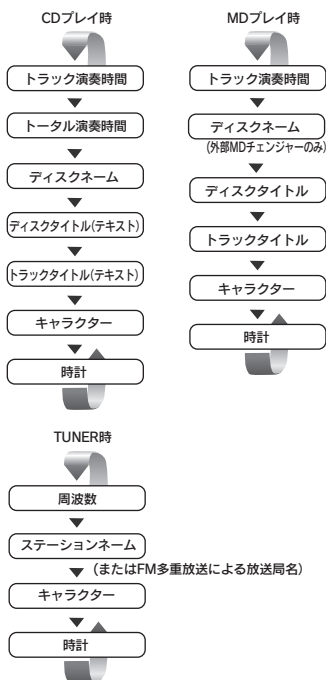
## ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

**B**



上へ動かすたびに次の順で切り替わります。



## ALL OFFモード中表示切り替え

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

### 1 ALL OFFモードにします

**C**



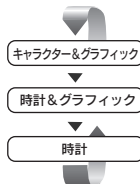
ALL OFF

### 2 表示を選びます

**B**



上へ動かすたびに次の順で切り替わります。



ディスプレイの表示の設定や角度を調整します。

## ● 操作パネル角度調節 ●

操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドします。



押すたびに、操作パネルが1ステップずつ10段階にスライドします。

パネルを元の位置に戻します。



パネルが動き始めるまで押し続けます。

- 電源をOFFにするとパネルは元の状態になります。再び電源をONにすると、数秒後に調節した角度になります。
- パネルスライド中は、FM/AM放送の音は出力されません。

# Display Control



A

## アナライザーの切り替え

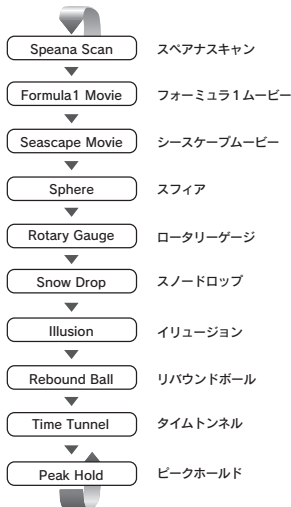
スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。

A



下へ動かすたびに次の順で切り替わります。

### DPX-9100MJの場合



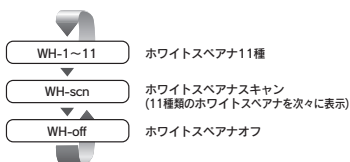
### DPX-8100MJ/8070MJの場合



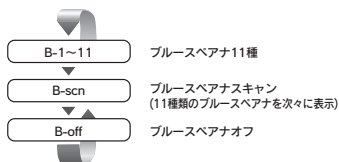
## ブルー・ホワイトスペアナの切り替え (DPX-8100MJi/8070MJのみ)

スペクトラムアナライザーのブルーとホワイト表示を単独に切り替えます。

ホワイトスペアナだけを切り替えるには

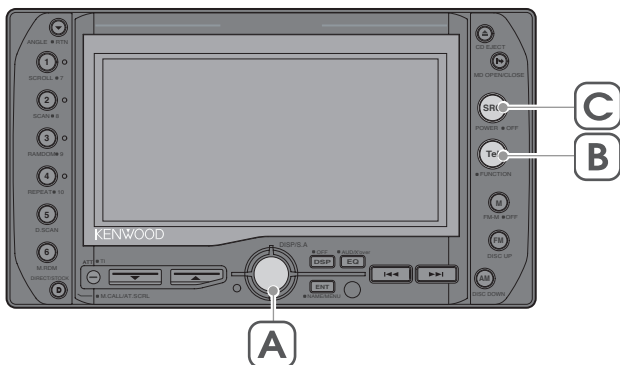


ブルースペアナだけを切り替えるには



ブルースペアナまたはホワイトスペアナを切り替えたときは、アナライザーの種類表示は“WH-○○/B-○○”と表示されます。

# Function Control



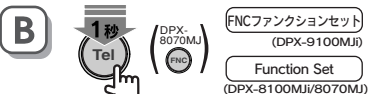
## ファンクションセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

### 1 設定する項目があるモードにします



### 2 ファンクションセットモードにします



“FNCファンクションセット” / “Function Set” と表示されるまで押し続けます。

### 3 設定項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

- 設定項目の詳しい機能説明はHelp Word (69ページ) を参照してください。
- 右表の“条件”の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

### 4 設定値を選択します



### 5 ファンクションセットモードを終了します



設定できる項目と値は次のとおりです。

### All Offモード時のみ

設定項目	設定値	条件
ビープ[BEEP] (ビープ音)	On [ON] / Off [OFF]	—
FMダイバーシティ [FM DIVER] (FMダイバーシティ システム設定)	On [ON] / Off [OFF]	—
Preout (プリアウト出力選択)	Rear[REAR] /N-F	—
文字輝度調整 - DPX-9100MJのみ - (ライトスイッチがオ ンのときのディスプ レイの明るさを設定)	Step 01~02~13	車両のライト スイッチをON 後にファンク ションセット モードにする
BRIGHT - DPX-81 00MJ/8070MJのみ - (ライトスイッチがオ ンのときのスピーカ の明るさを設定)	01~03~13	車両のライト スイッチをON 後にファンク ションセット モードにする
漢字優先表示 - DPX-9100MJのみ - (CDテキストの漢字 の優先表示)	On/Off	—
漢字優先表示 - DPX-9100MJのみ - (ディスクタイトルの 漢字の優先表示)	On/Off	—
オープニング画面表示 [Opening] (電源オン時のデモ表示)	On [ON] / Off [OFF]	—
コード書き込み準備 [CODE STBY] (セキュリティーコ ードの登録モード)	登録の方法は24 ページをご覧ください。	セキュリテ ィコードが 未設定時
NAV・MUTE (ナビ音声ガイド時 にミュート設定)	On [ON] / Off [OFF]	—

(□内はDPX-8100MJ/8070MJの表示 / 太字は初期設定値)

## 本機の各種の機能を設定します。

### 全モード (DPX-9100MJi/8100MJiのみ)

設定項目	設定値	条件
電話音声出力 [TEL Posi] (受話音スピーカー設定)	左/右 [L/R]	携帯電話を本機に接続中
電話自動着信 [TEL Rcv] (自動応答時間設定)	Off/5/7/10秒 [OFF/5/7/10s]	携帯電話を本機に接続中
電話ダウンロード [TEL Memo] (携帯電話メモリーの読み込み)	登録の方法は26ページをご覧ください。	携帯電話を本機に接続中
電話メモリクリア [TEL Erase] (登録メモリーダイヤルの消去)	消去の方法は26ページをご覧ください。	携帯電話を本機に接続中

([]内はDPX-8100MJiの表示 / 太字は初期設定値)

“電話音声出力”項目の設定は、ハンズフリーシステムのハウリングを防ぐため、運転席とは逆のスピーカー (右ハンドル車の場合は左スピーカー) に設定してください。

### MD-CH/CD/CD-CHモード時のみ

設定項目	設定値	条件
Title/Text.SCRL [AT.SCRL] (ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール)	On[ON] /Off[OFF]	チェンジャーのO-Nスイッチが"N"に設定時

([]内はDPX-8100MJi/8070MJの表示 / 太字は初期設定値)

MDプレイ時とCDプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

### Tunerモード時のみ

設定項目	設定値	条件
[Seek] (チューニングモード)	Auto/Manual	—
Mono [MONO] (FM放送モノラルチューニング)	On [ON] /Off [OFF]	FM放送受信時
オートメモリースタート準備 [AME Ready] (オートメモリー)	登録の方法は34ページをご覧ください。	—

([]内はDPX-8100MJi/8070MJの表示 / 太字は初期設定値)

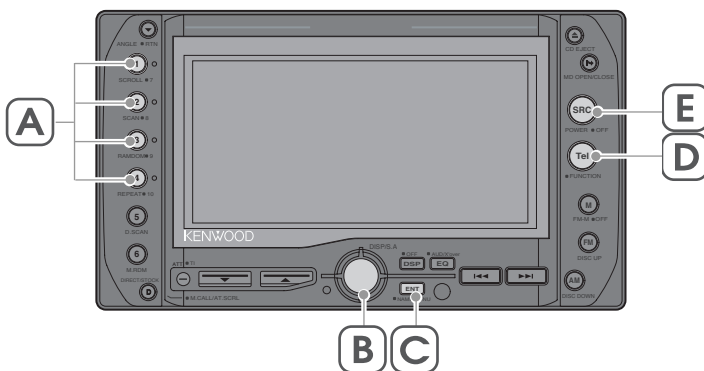
### FM Multi Control時のみ (DPX-9100MJiのみ)

設定項目	設定値	条件
FM多重表示継続 (ソースを切り替えたときなどでも文字情報表示を継続します)	禁止/許可	—
スクロールタイム (文字表示のスクロール間隔を継続)	1 ~ 2 ~ 5 秒	—
自動時刻補正 (FM多重情報による時刻自動補正)	On/Off	—
優先表示 (FM多重情報による放送局名表示の優先設定)	On/Off	—

(太字は初期設定値)

FM Multi ControlがオンのときはAll Off, Tuner, MD-CH, CD, CD-CH, およびMD-CHモードの設定は行えません。FM Multi Controlをオフにしてから設定を行ってください。

# Function Control



## セキュリティコード

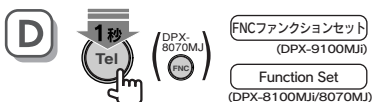
暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

● 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

### 1 ALL OFFモードにします



### 2 ファンクションセットモードにします



“FNCファンクションセット” / “Function Set” と表示されるまで押し続けます。

### 3 セキュリティコード項目を選択します

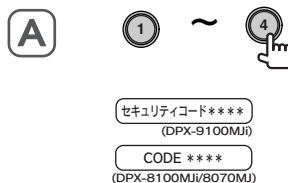


### 4 セキュリティコード入力を開始します



“コード書き込みモード” と表示されるまで押し続けます。

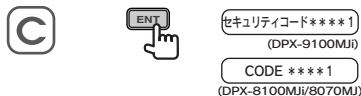
### 5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	1	2	3	4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

### 6 セキュリティコードを登録します





セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

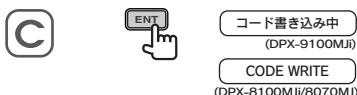
## 7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

## 8 セキュリティコードを再登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

## 1 セキュリティコードを入力します

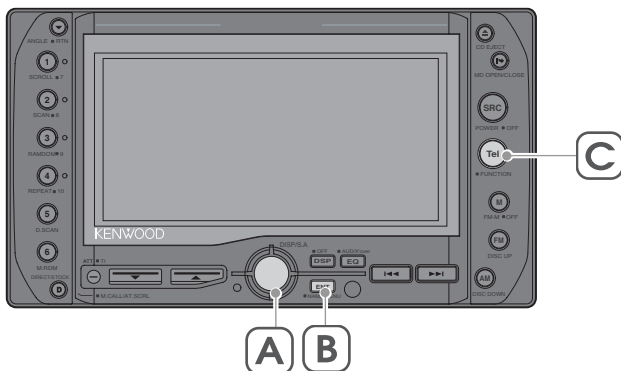


## 2 セキュリティコードを確認します



本機が使用可能となります。

セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。

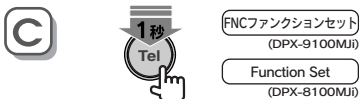


## 電話メモリーダイヤル読み込み

(DPX-9100MJi/8100MJiのみ)

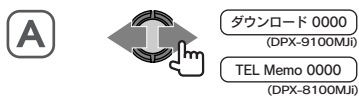
携帯電話にメモリーされている電話番号を最大100件まで読み込みます。

### 1 ファンクションセットモードにします



“FNCファンクションセット” / “Function Set” と表示されるまで押し続けます。

### 2 電話番号読み込み項目を選択します



### 3 電話番号の読み込み始める番号を指定します



押すたびに、携帯電話にメモリーされている電話番号の読み込みを開始するメモリー番号が変わります。指定できる番号は50件単位で変わります。

### 4 電話番号読み込みを開始します



2秒以上押すと読み込みが始まります。読み込みが終了するとビープ音がします。

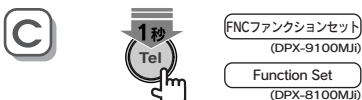
- 携帯電話から100件の電話番号を読み込むためには、2〜4分程度の時間がかかります。
- 100件分のメモリー番号の内、電話番号や名前が登録されていないメモリー番号があった場合は、登録されてないメモリー番号としてそのまま読み込まれます。  
また、シークレット機能がかったメモリー番号は読み飛ばされます。

## 電話メモリーダイヤル消去

(DPX-9100MJi/8100MJiのみ)

携帯電話から読み込んだ電話番号やプリセットダイヤル、ダイヤル履歴、着信履歴などのメモリーしてある電話番号をすべて消去します。

### 1 ファンクションセットモードにします

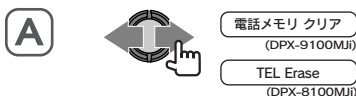


“FNCファンクションセット” / “Function Set” と表示されるまで押し続けます。

携帯電話からメモリーダイヤルを読み込みます。  
携帯電話の接続のしかたは、8ページの“接続する携帯電話について”をご覧ください。

また、時計表示の時刻調整をします。

### 2 電話番号の消去項目を選択します



### 3 電話番号の消去を実行します



2秒以上押すと電話番号が消去されます。

## 時刻調整

時計表示の時刻を合わせます。

### 1 時計表示を選びます



### 2 時刻合わせを開始します



インジケーターまたは⌚インジケーターが点滅するまで押し続けます。

### 3 “時” を合わせます



### 4 “分” を合わせます

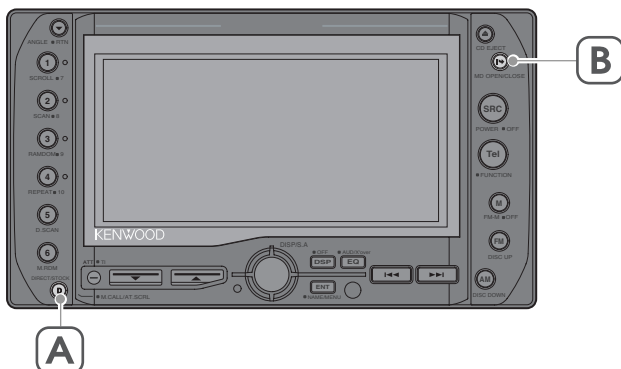


### 5 時刻合わせを終了します



分を調整したときは、00秒からカウントがスタートします。

# MD Changer/CD Mode



## ディスクの収納(MDチェンジャーのみ)

MDを3枚までチェンジャーに収納します。

### 1 操作パネルを開けます



### 2 MDを（3枚まで）収納します

MDをプレイ中に収納したいMDを差し込みます。

空いているストックポジションの一番小さい番号から順に、プレイ中のMDも含めて合計3枚まで収納されます。

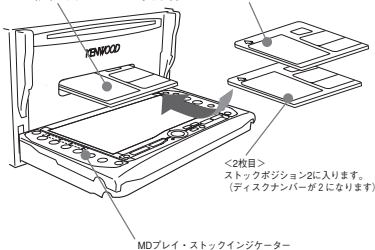
例：本機にディスクが入っていないとき

<1枚目>

すぐにプレイされます。  
(ディスクナンバーが1になります)

<3枚目>

ストックポジション3に入ります。  
(ディスクナンバーが3になります)



- MDがプレイされていないときでも、MDがプレイポジションにあるときにMDを差し込むと収納されます。

- ストックポジションとプレイポジションについては、Help ?Word (71ページ) を参照してください。

MDのプレイや収納状態は ① ~ ④ ボタン右のMDプレイ・ストックインジケータで分かります。  
ボタンの番号と同じディスク番号のMDの状態が以下のように表示されます。

MDプレイ・ストックインジケータ	MDの状態
点滅	プレイポジションにあります
点灯	ストックポジションにあります
消灯	挿入されていません

内蔵MD-CHモード中と操作パネルを開いているときに、上記のような表示をします。それ以外のときはプレイポジションにあるディスク番号のインジケータも点灯に変わります。

### 3 操作パネルを閉じます



3枚のMDやCDをいろいろにプレイします。  
基本的なMDとCDの聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。

### プラスワンプレイ(MDチェンジャーのみ)

MDを3枚収納しているときに4枚目のMDをプレイします。

#### 1 操作パネルを開けます

**B**



#### 2 プレイポジションを空けます

**A**



プレイポジションにあるMDがストックポジションに収納されます。

TunerモードまたはALL OFFモードになります。

#### 3 4枚目のMDを差し込みます

4枚目が差し込まれると、操作パネルが自動的に閉まり、MDプレイします。

- MDが4枚セットされているときには、MDの収納、ディスクサーチ、ダイレクトディスクサーチ、ディスクリピートプレイ、ディスクスキッププレイ、マガジンランダムプレイは行えません。これらを行うときは、4枚目に入れたMDを取り出してください。
- MDが4枚セットされているときには、収納されているディスクナンバー1～3のMDのプレイやイジェクトなどはできません。

#### 4 4枚目のMDを取り出します

**B**



操作パネルがオープンして4枚目のMDがイジェクトされます。

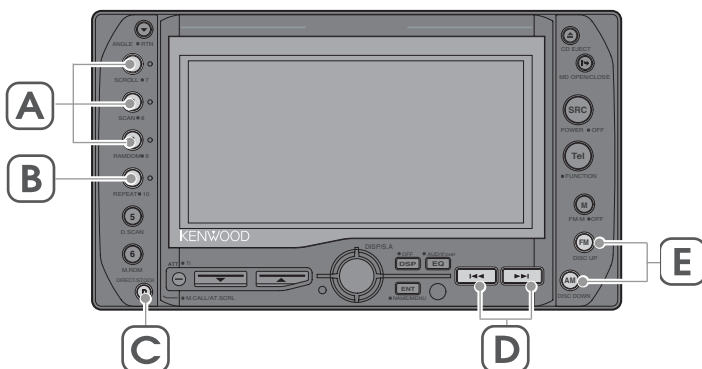
- 4枚目のMDを取り出すと、チューナーモードまたはオールオフモードになります。

#### 5 操作パネルを閉じます

**B**

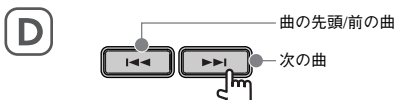


# MD Changer/CD Mode



## トラックサーチ

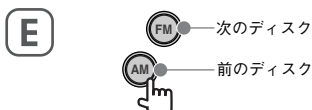
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

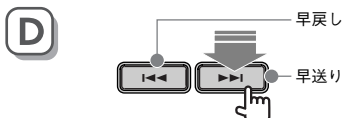
## ディスクサーチ (MDチェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



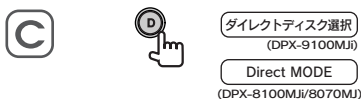
ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

## ダイレクトディスクサーチ

(MDチェンジャーのみ)

プレイしたいMDをダイレクトで選ぶことができます。

### 1 ダイレクトディスクサーチを開始します



### 2 ディスクナンバー(1~3のいずれか)を選びます



ダイレクトディスクサーチを中止するときは…



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

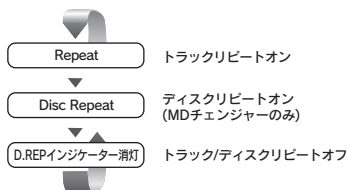
## トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

**B**



押すたびに、次のようにオン/オフします。



## トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

### 1 トラックスキャンプレイを開始します

**A**



Track Scan

### 2 聴きたい曲のところで...

**A**

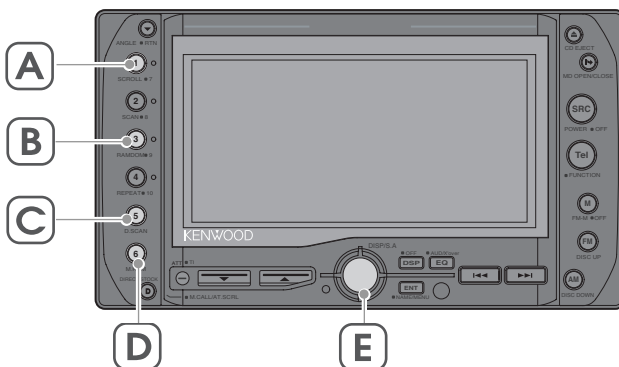


その曲からプレイされます。



すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

# MD Changer/CD Mode



- **ディスクスキャンプレイ(MDチェンジャーのみ)**  
チェンジャー内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつプレイしてディスクを探ることができます。

## 1 ディスクスキャンプレイを開始します



Disc Scan

## 2 聴きたいディスクのところで...



そのディスクからプレイします。



すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

- **トラックランダムプレイ**

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



Random

押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。



⏮️ を押すと、次の曲の選択を開始します。



## ● マガジンランダムプレイ (MDチェンジャーのみ)

マガジン内のディスクの曲をランダムな順でプレイします。



M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。



を押すと、次の曲の選択を開始します。

## ● タイトル/テキストスクロール

ディスクタイトル/CDテキストのオートスクロール設定がオフのときにスクロール表示します。

### 1 タイトル/テキスト表示にします



Disc Title

### 2 スクロール表示します

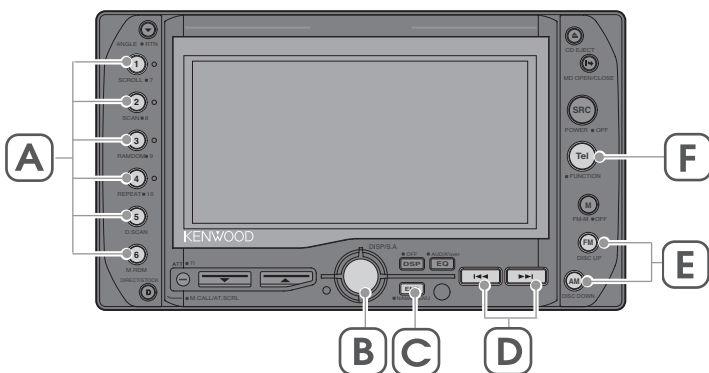


ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。



ファンクションセット (22ページ) のタイトル/テキストオートスクロールがOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

# Tuner Mode

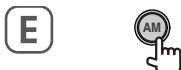


## バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます。



AM1とAM2を切り替えます。



## チューニング

受信する放送局を選びます。

### 1 バンドを選びます



### 2 放送局を選びます



チューニングモードがAutoのとき  
(AUTOインジケーターが点灯しています)  
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

## チューニングモードがManualのとき

押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

！ チューニングモードはファンクションセット（22ページ）で変更ができます。

## マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

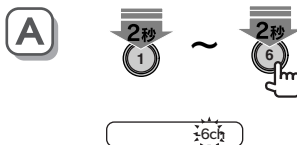
### 1 バンドを選びます



### 2 放送局を選びます



### 3 メモリーするボタン(1～6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

FM/AM放送を受信します。

また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation (14ページ) をご覧ください。

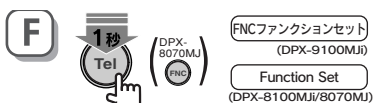
## オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

### 1 バンドを選びます

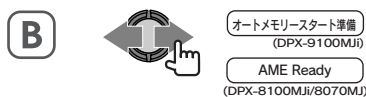


### 2 ファンクションセットモードにします



“FNCファンクションセット” / “Function Set” と表示されるまで押し続けます。

### 3 オートメモリー項目を選択します



### 4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。  
6局メモリーするか、周波数を一周すると自動的にオートメモリーは終了します。

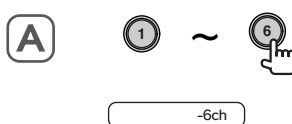
## プリセットチューニング

メモリーボタン (1～6) にメモリーされている放送局を受信します。

### 1 バンドを選びます

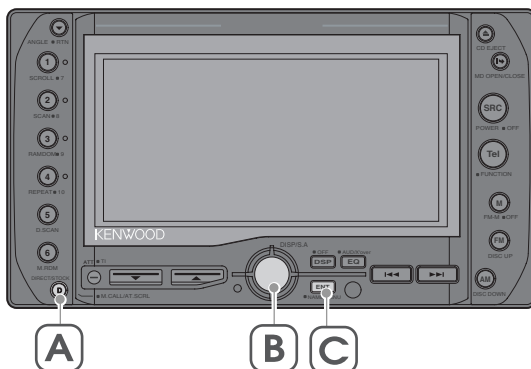


### 2 メモリーボタン (1～6のいずれか) を選びます



メモリーされている周波数が呼び出されます。

# Name Set



## DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)

CDとFM/AM放送局に名前を付けます。DNPSは本機のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーを合わせて100枚まで、FM/AM放送局には30局までステーションネームをセットできます。

### 1 名前を付けるCD/放送局を選びます

- 時計表示中やディスクテキスト/トラックテキスト表示中はDNPS/SNPSは行えません。時計やテキスト以外の表示を選択しておいてください。
- MDにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

### 2 DNPS/SNPSを開始します

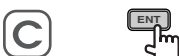


“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

### 3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



### 4 文字の種類を選びます



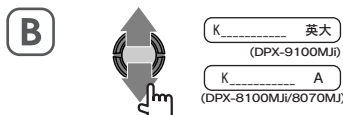
漢字の入力方法は次ページをご覧ください。押すたびに次の順で切り替わります。

DPX-9100MJ

DPX-8100MJ/8070MJ



### 5 文字を選びます



### 6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

### 7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前はDPX-9100MJで12文字まで、DPX-8100MJ/8070MJで8文字まで登録できます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。

FM/AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます。

## ● 漢字の入力 (DPX-9100Mjiのみ)

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

### 1 DNPS/SNPSを開始します

前ページの手順1～3を行います。

### 2 漢字入力モードにします



例 聖羅娃阿良愛接始達美

### 3 漢字の読みを選択します



例 以伊位依偉團奧威尉

### 4 入力する漢字を選ぶ



例 以伊位依偉團奧威尉

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには....



例 以伊位依偉團奧威尉

カーソルが漢字の位置にあるときに動かすと、漢字列が変わります。

### 5 漢字を入力する



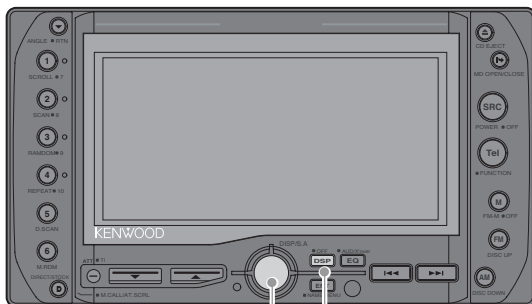
カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。

さらに漢字を入力する場合は、手順2～5を繰り返します。

### 漢字入力を中止するときは...



# DSP Control



A B

## DSPシステム

DSP機能を使います。

### DSPシステムをオンにします

B



DSP On

DSP効果のかかった音が出力されます。  
DSPシステムがオンのときにはDSPインジケータが点灯します。  
DSPシステムの設定はDSPシステムがオンの状態でのみ行えます。

- DSPの設定はAll Offモード以外のモード中に設定できます。
- バランス/フェダーを中央位置以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。DSPシステムのオン中は、バランス/フェダーを中央位置にして使用してください。

### DSPシステムをオフにします

B



DSP Off

“DSP Off”と表示されるまで押し続けるか、またはDSPインジケータが消えるまで押し続けます。  
DSP効果が解除されます。

## DSPの設定

DSPの効果を設定します。

### 1 DSP調整モードにします

B



DSP調整モード  
(DPX-9100MJ)

DSP CTRL  
(DPX-8100MJ/8070MJ)

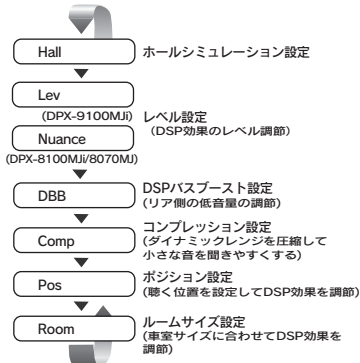
DSPシステムがオフのとき（DSPインジケータが消灯時）は2回押します。

### 2 設定する項目を選択します

A



押すたびに次の順で設定項目が切り替わります。



- ホールシミュレーション設定が“Bypass”（バイパス）の場合は、レベル設定とDSPバスブースト設定は行えません。
- ポジションが“ALL”（車室内の中央）の場合は、ルームサイズ設定は行えません。

DSP（デジタルシグナルプロセッサ）の設定ができます。  
また、設定内容を調整することもできます。

### 3 設定値を選択します

A

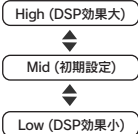


設定項目ごとの設定値は次のとおりです。

ホールシミュレーション



レベル



DSPバスブースト



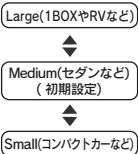
コンプレッション



ポジション



ルームサイズ

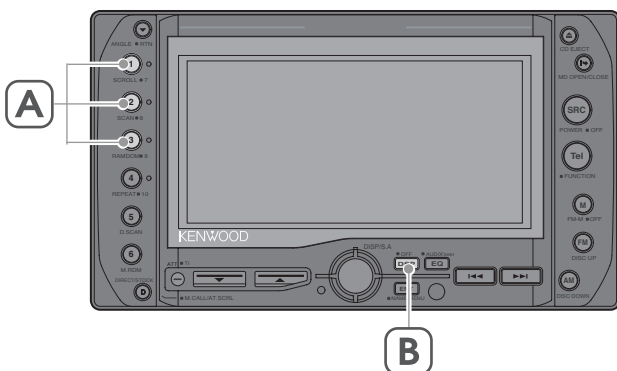


### 4 DSP調整モードを終了します

B



または、約10秒間以上、なにも操作しない  
でおきます。



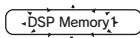
## ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のDSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

### 1 DSPを設定します

38ページを参照してDSPの設定をします。

### 2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“DSP Memory○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

## ユーザー設定の呼び出し

メモリーされているユーザー設定はワンタッチで呼び出せます。

### 1 DSP調整モードにします



DSP調整モード

DSPシステムがオフのとき（DSPインジケーターが消灯時）は2回押します。

### 2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



DSP Memory1

メモリーされているDSP設定が呼び出されます。

### 3 DSP調整モードを終了します

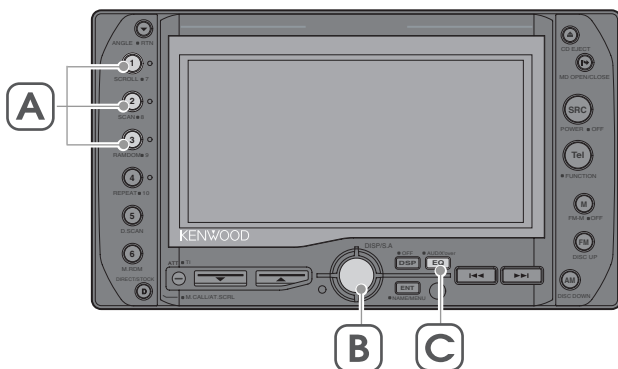


または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。





# Equalizer Control



## イコライザーカーブの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

### 1 イコライザーコントロールモードにします



EQ調整モード  
(DPX-9100MJ)

EQ CTRL  
(DPX-8100MJ/8070MJ)

### 2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



### 3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。  
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

## イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

### 1 イコライザーコントロールモードにします



EQ調整モード  
(DPX-9100MJ)

EQ CTRL  
(DPX-8100MJ/8070MJ)

### 2 調節する周波数を選びます



60Hz~16kHz (9 ステップ) から選択します。

### 3 レベルを調節します



-12dB~+12dB (13 ステップ) から選択します。

### 4 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。  
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

## イコライザーカーブの設定や調節をします。

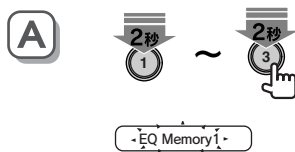
### ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のイコライザー設定を3種類までメモリーしておくことができます。

#### 1 イコライザーカーブを設定します

42ページを参照してイコライザーカーブの調節をします。

#### 2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます

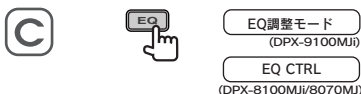


“EQ Memory○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

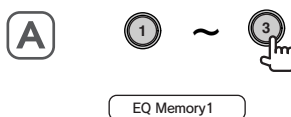
### ユーザー設定の呼び出し

メモリーされているイコライザーカーブはワンタッチで呼び出せます。メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます。

#### 1 イコライザーコントロールモードにします



#### 2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます

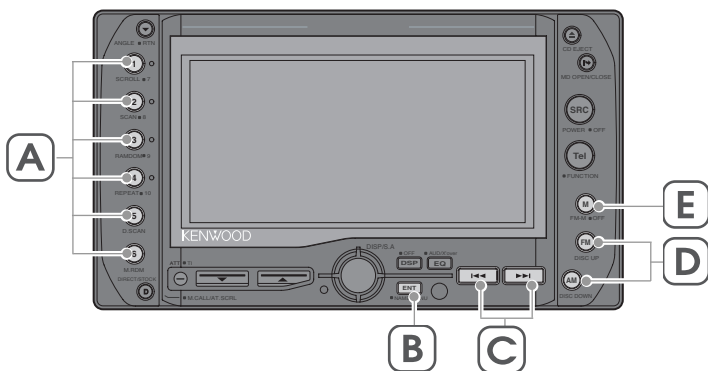


メモリーされているイコライザーカーブが呼び出されます。

#### 3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。  
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。



## FM多重システム

FM文字多重放送受信機能を使います。

FM多重システムをオンにします

E



FM多重 On

FM多重情報の受信・蓄積を開始します。  
FM多重システムの設定や調整はFM多重システムがオンの状態で行います。

● FM多重システムがオンのときは、オートアンテナ仕様車の場合、アンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどで縮めたいとき、FM多重システムをオフにしてください。

FM多重システムをオフにします

E



FM多重 Off

“FM多重 Off”と表示されるまで押し続けます。

● FM多重放送を受信中に、緊急情報番組の放送が始まった場合は、自動的に番組を切り替えて緊急情報番組の情報を受信・表示します

## FM多重継続受信

FM文字多重情報の受信を続けたままオーディオソースのコントロールをします。

E



FM多重システムがオンのときに押すたびに、FM多重継続受信機能がオン/オフします。オンにするとFM MULTIインジケータが消えて、|~|インジケータのみが点灯します。オン中はFM文字多重情報の受信・蓄積をしたままで、オーディオ（CD、MDなど）の操作が可能になります。

## チューニング

受信するFM多重放送局を選びます。

C



チューニングモードがAutoのとき

受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードがManualのとき

押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

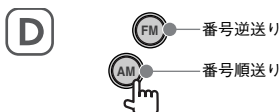
● チューニングモードはファンクションセット（22ページ）で変更ができます。

FM文字多重放送を受信して番組情報や交通情報などを表示することができます。

## FM文字多重番組の選択

見たい文字情報番組を探します。

### 1 番組を表示させます



押すたびに、番組が目次の番号順に表示されます。

FM文字情報オートスクロール（46ページ）がオンのときは、番組が目次の番号順に次々と表示されます。

### 2 番組を選びます



手順1で表示された番組の中で、見たい番組の番号を押します。

さらに番組選択が続く場合は、見たい番組の情報が表示されるまで、手順1～2の操作を繰り返します。

- 車両のパーキングブレーキをしていないとき（走行中）には、表示されない番組（ニュース番組や一般情報番組など）があります。このような番組を選ぶと“本番組は走行中表示できません”と表示がされます。

### 3 番組の選択を取り消します

1つ前の選択メニューに戻すときは



- “本番組は走行中表示できません”と表示されているときに押すとメインメニューに戻ります。

メインメニューに戻すときは



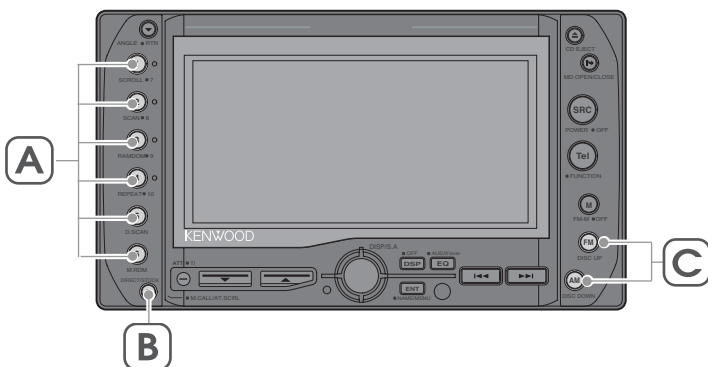
1秒以上押すと一番最初のメニューに戻ります。

### 4 情報ページを切り替えます



押すたびに、文字情報のページが切り替わります。

FM文字情報オートスクロールがオンのときは、文字情報のページが次々と表示されます。



## ● FM文字情報オートスクロール

FM文字番組の表示を自動的に切り替えて表示します。

**B**



押すたびにFM文字情報オートスクロールがオン/オフします。  
オンになると“FM MULTI”インジケータが点灯から点滅に変わります。

- 番組連動チャンネルを受信している場合は、FM文字情報オートスクロールがオフでも自動的にスクロールをします。

## ● 情報ページメモリー

表示している情報をページ単位でメモリーします。

### 1 情報ページを選びます

**C**



### 2 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます

**A**



①にメモリしました

“○にメモリしました”と表示されるまで押し続けます。

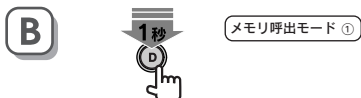


- 1個のボタンにメモリーされる情報は1ページ分です。1ページは1/4角文字1行と全角文字2行の合計3行で構成されています。
- 電源ハーネスを外したり、リセットボタンを押すとメモリーされている情報ページは消去されます。

## メモリーページ呼び出し

メモリーしている情報ページを呼び出します。

### 1 メモリーページ呼び出しモードをオンにします



“メモリー呼び出しモード○”と表示されるまで押し続けます。

### 2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



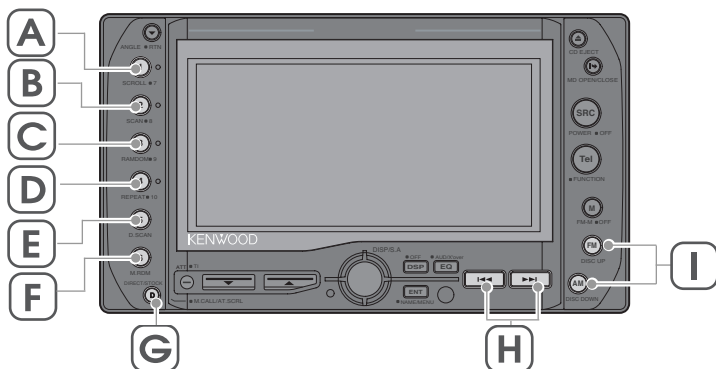
### 3 表示行を切り替えます



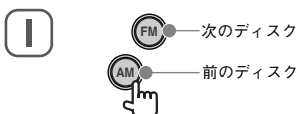
### 4 メモリーページ呼び出しモードをオフにします



# External Disc Control

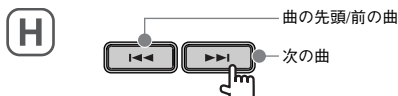


- **ディスクサーチ (チェンジャーのみ)**  
プレイするディスクを選択します。



## トラックサーチ

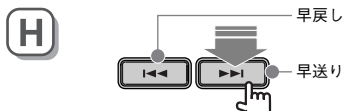
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲ヘトラックサーチします。

## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。

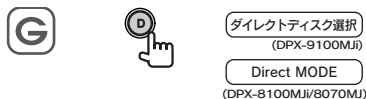


ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

- **ダイレクトディスクサーチ**  
(ディスクチェンジャーのみ)

プレイしたいディスクをダイレクトで選ぶことができます。

### 1 ダイレクトディスクサーチを開始します



### 2 ディスクナンバー(1~6のいずれか)を選びます



ディスクナンバー7~10を選ぶときは



プレイしたいディスクナンバーが表示されるまで押し続けます。

### ダイレクトディスクサーチを中止するときは...



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。



別売品のディスクチェンジャーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

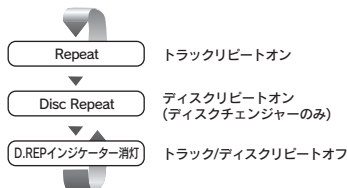
## トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

**D**



押すたびに、次のようにオン/オフします。



## トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

### 1 トラックスキャンプレイを開始します

**B**



Track Scan

### 2 聴きたい曲のところで...

**B**

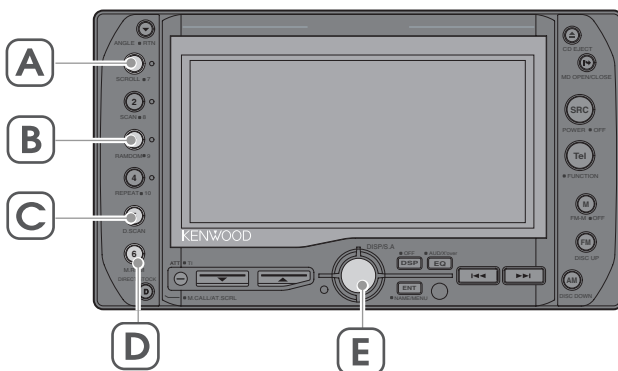


その曲からプレイします。



すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

# External Disc Control



- **ディスクスキャンプレイ (チェンジャーのみ)**  
マガジン内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつ  
プレイしてディスクを探すことができます。

## 1 ディスクスキャンプレイを開始します



Disc Scan

## 2 聴きたいディスクのところで...



そのディスクからプレイします。



すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

## ●トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



Random

押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。



を押すと、次の曲の選択を開始します。

## ● マガジンランダムプレイ (チェンジャーのみ)

マガジン内のディスクの曲をランダムな順でプレイします。



M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。



を押すと、次の曲の選択を開始します。

## ● タイトル/テキストスクロール

ディスクタイトル/CDテキストのオートスクロール設定がオフのときにスクロール表示します。

### 1 タイトル/テキスト表示にします



Disc Title

### 2 スクロール表示します

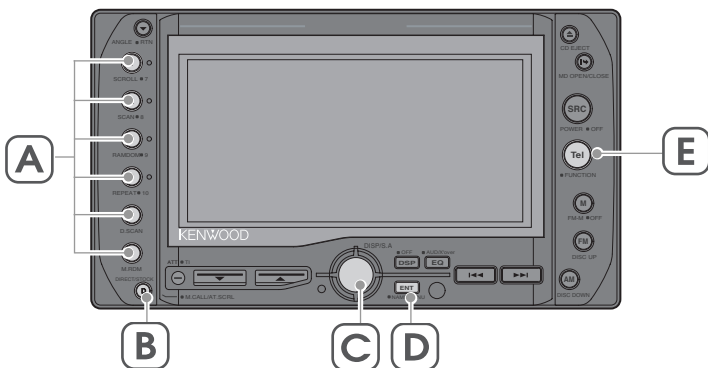


ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。



ファンクションセット (22ページ) のタイトル/テキストオートスクロールがOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

# Telephone Control

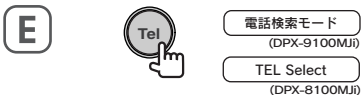


## ハンズフリーで電話をかける

携帯電話を持たずに電話をします。

- 電話番号を携帯電話から本機に読み込んでいないと使用できません。電話番号はファンクションセットの“電話ダウンロード”項目で携帯電話から本機に読み込むことができます。(26ページ)

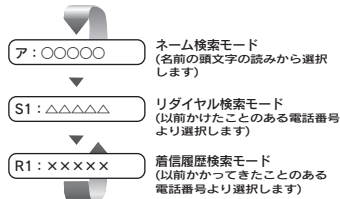
### 1 テレホンモードにします



### 2 電話番号検索モードを選択します

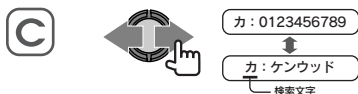


押すたびに次の順で切り替わります。



- プリセットダイヤルはすべての電話番号検索モードで呼び出せます。  
(プリセットダイヤルへの電話番号のメモリーのし  
かたは55ページを参照してください)

### 3 ネーム検索モードで電話番号を選びます



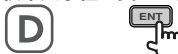
動かすたびに名前が切り替わります。  
表示される“名前”は携帯電話にメモリーさ  
れている「読み」に準じます。  
“検索文字:名前”と“検索文字 (DPX-9100MJ  
のみ):電話番号”が交互に表示されます。

#### 検索文字の換えかた

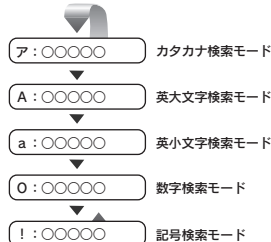


“検索文字”は、カタカナ検索モード時は  
「あかさたな…」の順に切り替わり、英大(小)  
文字検索モード時は「A(a), H(h), O(o), V(v)」  
の順に切り替わります。

#### 検索文字種の変更かた



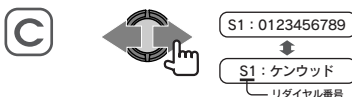
押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のCA-HF100またはCA-HF200を使って携帯電話を接続すれば、本機でハンズフリー通話ができます。

携帯電話の接続のしかたは、8ページの“接続する携帯電話について”をご覧ください。

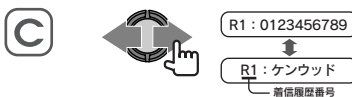
### 3 リダイヤル検索モードで電話番号を選びます



以前にかけた最新の10件から電話番号、名前で選択します。

“リダイヤル番号：名前”と“リダイヤル番号（DPX-9100MJiのみ）：電話番号”が交互に表示されます。

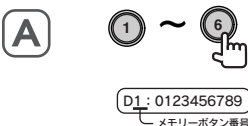
### 3 着信履歴検索モードで電話番号を選びます



以前にかかってきた最新の10件から電話番号を選択します。

“着信履歴番号（DPX-9100MJiのみ）：電話番号”が表示されます。電話番号が本機にメモリーされている場合は、“着信履歴番号：名前”と交互に表示されます。

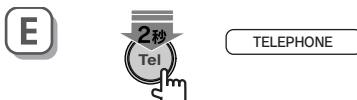
### 3 プリセットダイヤルメモリーで電話番号を選びます



メモリーボタン（1～6のいずれか）から電話番号を選択します。

“メモリーボタン番号（DPX-9100MJiのみ）：電話番号”が表示されます。


### 4 電話をかけます



“TELEPHONE”と表示されるまで押し続けます。

相手が応答するとハンズフリー通話ができます。

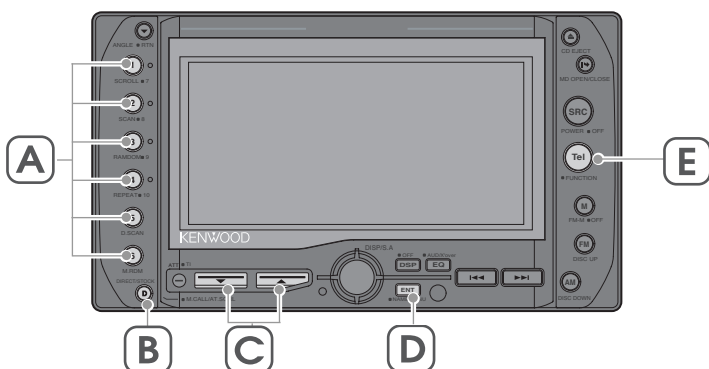
通話中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

- 通話中に  を押すと通話は切断され、オーディオソースに切り替わります。
- 接続している携帯電話によっては、通信事業者からの案内メッセージなどがスピーカーから聞けないことがあります。

### 5 通話を終了します



# Telephone Control



## ● ハンズフリーで電話を受ける

携帯電話を持たずに電話にでられます。

### 1 電話がかかってきたら・・・



ハンズフリーで通話ができます。  
ファンクションセットの“電話自動着信”項目が5、7、または10秒に設定されている場合は、設定時間で自動的に応答し、ハンズフリー通話ができます。  
通話中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

- 着信状態のときに **TEL** を押すと、電話を応答せずに切ることができます。
- 本機の操作では応答保留にすることはできません。

### 2 通話を終了します



## ● プライベート通話

ハンズフリー通話中に携帯電話機での通話に切り換えます。



通話中に押すたびに、ハンズフリー通話とプライベート通話とに切り替わります。



注意

プライベート通話への切り替えは、安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 発信中または着信中にプライベート通話にすると正常に発信・着信ができない場合があります。プライベート通話への切り替えは通話中に行ってください。
- 接続している携帯電話によっては、プライベート通話機能が正常に動作しない場合があります。本機能の対応している携帯電話の機種についてはカタログをご覧ください。

## ● 受話音量の調節

ハンズフリー通話中に相手の声の大きさを調節します。



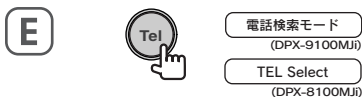
次回からのハンズフリー通話は、自動的にこの調節された受話音量となります。

- 受話音量値を“23”以上に設定すると、安全のため次回の受話音量値は自動的に“22”に設定されます。
- 受話音量を大きくするとエコーが発生しやすくなります。  
エコーが発生したときは、受話音量をできるだけ小さくしてください。エコー音は、受話音量に比例して大きくなります。

## ● プリセットダイヤルメモリー

プリセットダイヤルに電話番号をメモリーします。

### 1 テレホンモードにします



### 2 メモリーしたい電話番号を選びます



- 電話番号の選択のしかたは、“ハンズフリーで電話をかける” (52ページ) を参照してください。

### 3 メモリーするボタン(1～6のいずれか)を選びます

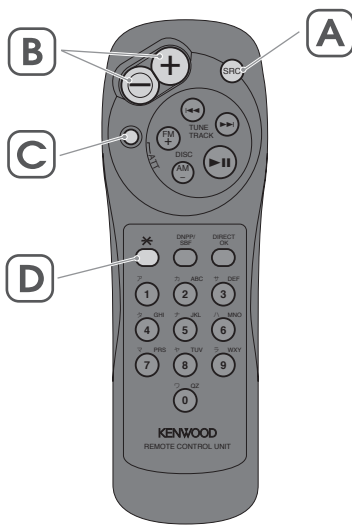


D1: ケンウッド

“D○:△△△△△”と表示されるまで押し続けます。

# Remote Control

## Common Operation



### ソース切り替え



プレイするソースを切り替えます。

### 音量調節



音量を調節します。

### アッテネーター



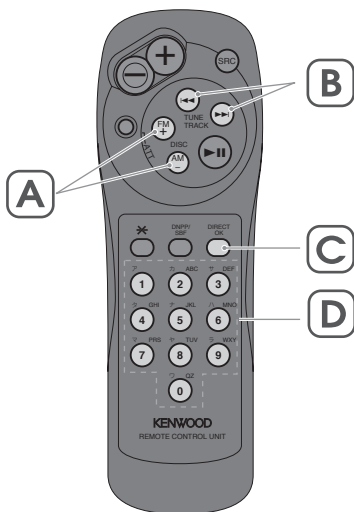
ワンタッチで音量を小さくします。  
もう一度押すと元の音量に戻ります。

### パネル角度調整



パネルの角度を調整します。

## Tuner Operation



### バンド切り替え



受信するバンドを切り替えます。

### 選局



受信する放送局を選択します。

### ダイレクトサーチ



このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）

⑦⑥①

例：1242kHz(AM)の場合（4桁）

①②④②

### テンキー

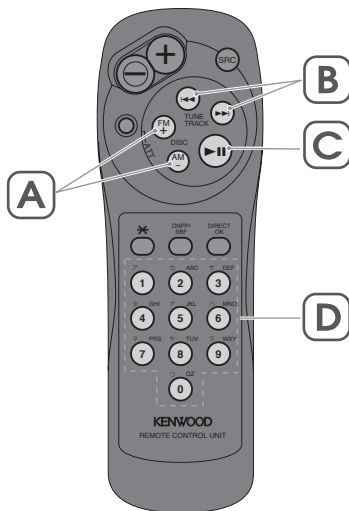


メモリーされている放送局の番号を選択します。（①～⑥）

DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。



## CD/MD Operation



### ディスクサーチ

A



ディスクチェンジャー内でプレイするディスクを選択します。  
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

### トラックサーチ

B



プレイする曲を選択します。  
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラックをダイレクトサーチします。

### プレイ/ポーズ

C



プレイを一時停止します。  
もう一度押すと、プレイを再開します。

### テンキー

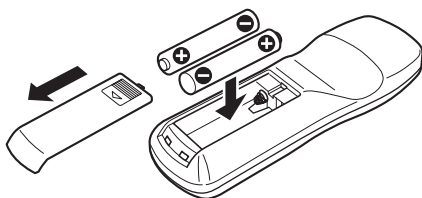
D



テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。プレイ中のディスクには無いトラック番号を指定すると最後のトラックを演奏します

## 電池の入れかた

付属の電池（単四型2本）を+/−の向きを正しく合わせて入れてください。



● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

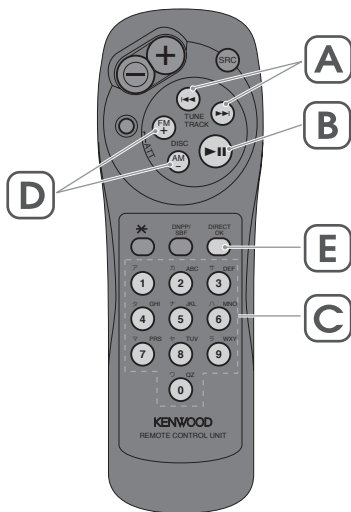


**注意**

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
  - 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
- また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

# Remote Control

## SNPS/DNPS Operation



### カーソル

**A**



カーソルを文字を入力する位置に移動します。

### 文字種切り替え

**B**



入力する文字の種類（英大文字/英小文字/カタカナ/ひらがな/数字・記号）を切り替えます。

### テンキー

**C**



文字を入力します。  
例：「コ」を入力する場合  
（カタカナ）  
②（5回押す）  
例：「h」を入力する場合  
（英小文字）  
④（2回押す）

### 文字選択

**D**



文字を順に切り替えます。

### 終了

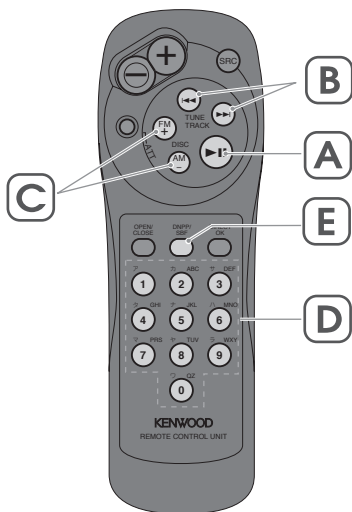
**E**



登録が完了します。

SNPS/DNPSを開始するには、DPX-9100MJi / DPX-8100MJi / DPX-8070MJ本体の **ENT** を2秒以上押します。

## FM Multi Operation (DPX-9100MJiのみ)



### メニュー階層戻し



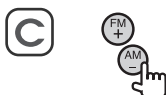
メニューの階層を1段階戻します。

### 選局



受信する放送局を選択します。

### 情報ページ切り替え



文字情報のページが切り替わります。

### テンキー



メニューを表示中に、番組の番号を選択します。

### AFサーチ



受信状態が悪くなったときに押すと、同じ放送系列の放送局を自動的に探し出します。

AFサーチ機能が使えるのは、受信している放送局から代替放送局の周波数の情報が送られているときです。このような情報を受信すると“AF”インジケータが点灯します。

FM文字多重番組を表示するには、DPX-9100MJi本体の を押します。

## 電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

## 音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- アッテネーターがオンになっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 音量を適度に上げてください。
- アッテネーターをオフにしてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

## 操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルがスライドしている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(10ページ)

## 音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

## チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

## SRCボタンを押しても、CD-CH/外部MD-CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 接続されていないソースには切り替わりません。取付説明書を参照して正しく接続し直してください。
- リセットボタンを押してください。(10ページ)

## オーディオコントロールのN-F項目が表示されない

- ファンクションセットのPRE-OUT項目がRearに設定されている。
- ファンクションセットのPRE-OUT項目をN-Fに設定します。(22ページ)

## 電源をオフにするとディスプレイが赤く光る

- 一時的に表示管が発光するため。
- パネルをスライドしているときに電源をオフにすると、自動的にパネルが元に戻りますが、この間、一時的に表示管に電源が入り、光って見えることがことがあります。

## MD-CH/CD/External Disc mode

### SRCボタンを押してもディスク (MD/CD) に切り替わらない

ディスクがセットされていない。

プレイするディスクをセットしてください。

### ディスク (MD) が入らない

- すでにMDが3枚入っている。
- すでにMDが4枚入っている。
- MDのディスクチェンジ中などのため。

- DIRボタンを押してプレイポジションのMDをストックポジションに移動させた後にMDを挿入してください。
- イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してから入れてください。
- MD挿入口のカバーが開いてから入れてください。

### ディスク (CD) が入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

### MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

### MDが引き込まれても、すぐにイジェクトされる

MDに何も録音されていない。

録音/記録されたMDを入れてください。

### ディスク (MD/CD) のプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

### CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(10ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

### 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。(32ページ)

### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。(31ページ)

## MD-CH/CD/External Disc mode

### 曲の先頭しかプレイされない

トラックスキンプレイがオンになっている。

トラックスキンプレイをオフにしてください。(31ページ)

### チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(31ページ)

### 曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。(32ページ)

### ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(33ページ)

### CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

### 文字がスクロールされない

- 情報文字数が12文字以下のため。
- ディスクネームを表示しているため。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

### All OffモードにするとCDが1曲目の演奏に戻る

ファンクションセットのCD漢字優先表示項目を変更した。

CD漢字優先表示の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(22ページ)

### ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

### MDでディスクサーチ、ダイレクトディスクサーチ、マガジンランダム、ディスクスキャン、ディスクリピートができない

ディスクが4枚入っている。

ディスクを1枚イジェクトしてください。

### マガジンランダム、ディスクスキンプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

## リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

## CD-R、CD-RWがプレイできない

●ファイナライズ処理を行っていない。

●CDチェンジャーでプレイしている。

●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。  
●CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

## トラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

## ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

## Function Control

### 文字輝度調整、スベアナ輝度調整項目が表示されない

- 車両のライトスイッチがオフになっている。
- イルミネーションコードが接続されていない。
- 車両のライトスイッチをオンにしたのち、再度ファンクションセットモードをオンにしてください。
- 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

### オーディオコントロールのNon Fader(N-F)、LPF、LPF Slope、T-DLY NF項目が表示されない

- Preout項目がRearに設定されている。
- Preout項目をN-Fに設定してください。(22ページ)

### Title.SCRL/Text.SCRL項目が表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。
- “O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

### FM多重システムの項目しか表示されない (DPX-9100MJiのみ)

- FM多重システムがオンになっているため。
- FM多重システムをオフにしてください。(44ページ)

### セキュリティコード項目が表示されない

- すでにセキュリティコードを設定してある。
- セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

### セキュリティコードを忘れた

- セキュリティコードを調べることはできません。
- ケンウッドサービスセンターにご相談ください。



## Name Set

### DNPSができない

- 本機またはKMD-C30でMDをプレイしている。
- ディスクスキャン、マガジンランダムがオンになっている。
- 本機およびKMD-C30ではMDにDNPSはできません。
- ディスクスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

### SNPS表示にしても “No Name” と表示される

- ステーションネームが登録されていない。
- ファンクションセットの“優先表示”を“Off”に設定したため。
- ステーションネームを登録してください。(36ページ)
- “優先表示”を“On”に設定するか、ステーションネームを登録してください。(22ページ)

### タイトル表示に切り替えても “No Title” と表示される

- ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されていない。
- ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

### 登録したはずのステーションネームが消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

### 登録したはずのディスクネームが消えた

- 101枚目のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCD/MDチェンジャーを合わせて100枚分です。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

### ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

### “No Disc” と表示される

- プレーヤーやマガジンにディスクが入っていない。
- ディスクを入れてください。

## Display/DSP/Equalizer Control

### DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。

● 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

● フェダーやバランスを正しく調整してください。  
(16ページ)

### レベル、DSPバスブーストが調整できない

ホールシミュレーション設定が“Bypass”に設定されている。

ホールシミュレーション設定を“Bypass”以外に設定してください。(38ページ)

### ルームサイズの調整ができない

ポジションが“ALL”に設定されている。

ポジションを“ALL”以外に設定してください。(38ページ)

### イコライザーを調整しても効果が現れない

1つの周波数だけを調整している。

調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

### アナライザーの切り替えができない

ALL OFFモードになっている。

SRCボタンを押して、オーディオソースに切り替えてからアナライザーの切り替えをしてください。

### 音がひずむ・雑音が出る

コンプレッション設定で圧縮レベルが大きく設定されている。

コンプレッション設定で圧縮レベルを大きくすると、ディスクによっては音がひずんだり、雑音が出ることがあります。圧縮レベルを小さくするか、“OFF”に設定してください。

## Telephone Control (DPX-9100MJi/8100MJiのみ)

### テレフォンモードにできない (📶 インジケータが点灯しない/点滅する)

- 携帯電話が接続されていない。  
(📶 インジケータが消灯している)
- 携帯電話からメモリーダイヤルを読み込んでいない。  
(📶 インジケータが点滅する)
- 携帯電話の電源をオフ、本機の電源をオンにして、別売品のCA-HF100/CA-HF200に携帯電話がロックするまで差し込んでください。
- 「メモリーダイヤル読み込み」(26ページ)を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込んでください。

## FM Multi Control (DPX-9100MJiのみ)

### 文字情報が表示できない

- 受信中の放送局がFM文字多重放送局ではない。
- 文字多重放送の休止中。
- 放送局の受信状態が悪い。
- 空白のページを表示中のため。

● ほかの放送局を受信してください。

● 表示するページを替えてください。

### 文字がスクロール表示されない

- ファンクションセットの“スクロールタイム”が4秒または5秒に設定されているため。
- FM文字情報オートスクロールがオフになっている。

● スクロールするタイミングとFM多重情報が更新されるタイミングとが重なるとスクロール表示できないことがあります。

● FM文字情報オートスクロールをオンに設定してください。(46ページ)

### オートチューニングして放送局を受信しても情報を表示できない

FM多重放送局以外を受信した。

オートチューニングはFM多重放送局だけを探す機能ではないためFM多重放送局以外も受信します。再度オートチューニングを行い、ほかの放送局を受信してください。

### FM多重システムの操作しかできない/オーディオソースの操作ができない

FM多重システムがオンになっている。

Mボタンを押してFM多重継続受信機能をオンにするか、Mボタンを1秒以上押してFM多重システムをオフにしてください。(44ページ)

### FM多重システムがオンのときにSRCボタンをしてもオーディオの操作に切り替わらない

ファンクション設定のFM多重表示継続が“許可”になっている。

ファンクション設定のFM多重表示継続を“禁止”にするか、FM多重システムコントロールをオフにしてからオーディオの操作をしてください。(22ページ)

### 最初の番組画面に戻る/ビープ音が2回鳴り番組が選べない

- 停車中に、走行中は表示できない番組を選択してから走行を開始した。
- 走行中に表示できない番組を選択した。

走行中は安全のため、以下のような番組は表示されなくなっています。

- ニュース番組
- 一般情報番組
- 主な補完番組

その他、情報量が多い番組は表示されません。

## AFサーチ

(エーエフサーチ)

FM多重情報として送られてくる代替放送局の周波数情報から、一番受信状態の良い放送局を自動的に選び出して受信する機能です。

代替放送局とは、同じ放送局系列（ネットワーク）で同一のプログラムをオンエアしている放送局です。

## Amp Cont/Amp CTRL

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

## AT.SCRL/Title.SCRL/Text.SCRL

(オートスクロール)

ディスクタイトルやCDテキストが長い場合ディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“On”に設定しておくと、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。設定はCDプレイ時とMDプレイ時とで別々に設定できます。

## BEEP/ビーブ

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ビッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ビッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

## CD漢字優先表示/MD漢字優先表示

CDテキストやディスクタイトルなどが漢字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示（Onに設定）するか、漢字をカタカナ、ローマ字に変換して表示（Offに設定）するかの設定ができます。

## FMダイバーシティ

2本のFMアンテナから一番受信状態の良いアンテナを瞬時に選び出し、自動的に常に受信状態の良いアンテナに切り替えるシステムです。

車両側で2本のアンテナに対応されている場合もありますが、別売品の汎用ダイバーシティ変換プラグ“CA-83U”などを使用すると、このFMダイバーシティシステムを未対応車でも活用することができます。詳しくはカタログなどをご覧ください。

## FM多重継続受信

この機能をオンにすると、表示・操作がFM多重システムからオーディオソースになりますが、FM文字多重のデータの受信・蓄積は続けます。このため、情報が必要となすすぐに見ることができます。

## FM多重表示継続

FM多重システムがオンのときに、この機能を“許可”に設定しておくと、オーディオソースの操作に移行してもFM多重情報の表示を続けことが可能になります。

## FM文字多重放送

FM電波のすき間を使用して、文字情報データを送信する放送システムです。

FM多重受信システムをオンにすると、この放送システムで送られてくる文字情報を見ることができます。

## HPF Slope

(ハイパスフィルタースロープ設定)

HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1 オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

## HPF-F/HPF-R

(フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“Through” / “OFF” に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## LPF

(ローパスフィルター)

ノンフェダー出力から高音を削除することができます。ノンフェダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Through” / “OFF” に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## LPF Slope

(ローパスフィルタースロープ設定)

LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1 オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

## Mono

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

## Preout

(プリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェダー調整に影響されない出力（ノンフェダー出力“N-F”）に切り替えることができます。フェダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

## T-DLY F/T-DLY R/T-DLY NF

(フロントタイムディレイコントロール/

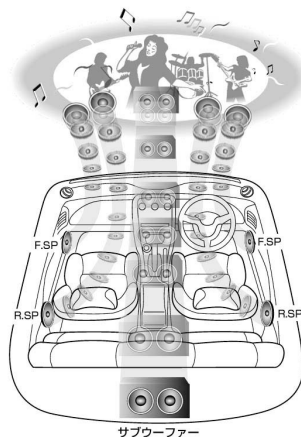
リアタイムディレイコントロール

/ノンフェダータイムディレイコントロール)

フロント、リア、ノンフェダーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能のため、車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

Time-DLY Fの設定値 (msec.) を上げていくと、音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。

Time-DLY RやTime-DLY NFの設定値 (msec.) を上げていくと、前方定位（ばらけていた音が前方でまとり、目の前で鳴っているような感覚）や低音感増強、臨場感の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファーの音集性が向上します。



---

## オープニング画面表示

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

---

## ストックポジション プレイポジション

本機内蔵のMDチェンジャーには、ストックポジションとプレイポジションがあります。

普段MDを収納して保管しておくところがストックポジションで、実際にMDを演奏する場所がプレイポジションです。MDは一旦ストックポジションに収納され、演奏するときにストックポジションからエレベーターでプレイポジションに移され再生されます。

---

## セキュリティコード

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

---

## チューニングモード

放送局の探し方を設定することができます。

“Auto” に設定しているときに◀◀/▶▶ボタンを押すと放送局を自動的に見付け出し、“Manual” に設定しておくと1ステップずつ周波数を変えることができます。

---

## ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C410、KDC-C406など）、MDチェンジャー（KMD-C30など）です。本機内蔵の3+1MDチェンジャーを指すこともあります。

---

---

## 自動時刻補正

放送局の中には時刻情報をFM多重で送信している局があります。この時刻情報を利用して、本機内蔵の時計を常に補正する機能です。

---

## 文字輝度調整/BRIGHT

車両のライトスイッチをオンにしたときの本機の文字表示部の明るさを設定しておくことができる機能です。

---


## 優先表示

Tuner Mode中にディスプレイ表示を“ステーションネーム”にしているとき、この機能で“SNPSで登録した名前”または“FM多重情報で送られてくる放送局名”とに切り替えることができます。

“On” に設定すると“FM多重情報で送られてくる放送局名”、“Off” に設定すると“SNPSで登録した名前”を表示します。


---

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。  
●ディスクが裏返しになっている。  
●ディスクに傷が多く付いている。  
●ディスクが入っていない。  
●トレイが入っていない。  
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。  
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。  
●ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。  
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。  
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。  
→ほかのディスクを使用してください。
-  **(点滅) / 電話メモリーされていません (DPX-9100MJi) / TEL No Memo (DPX-8100MJi)**  
: 本機に電話番号がメモリーされていない。  
→「メモリーダイヤル読み込み」(26ページ)を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込んでください。
- パネルを開けてください (DPX-9100MJi) / Please Close (DPX-8100MJi/8070MJ)**  
: 操作パネルを開いているときに、操作できないボタンを押した。  
→パネルを閉めてから操作してください。



## システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。  
➡本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-HOLD** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。  
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。  
●何らかの原因で正常に動作していない。  
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
-  (点滅) : CDプレーヤーが正常に動作していない。  
➡CDを取り出してから、CDを入れ直してください。
- 1～4ボタン右のインジケーターが点滅**  
: MDプレーヤーが正常に動作していない。  
➡MDをすべて取り出してから、MDを入れ直してください。

## FM多重放送の受信状態を以下のように表示します。

- データを集めています** : 文字情報を蓄積中です。  
➡この表示のままFM文字情報表示に切り替わらないときは、FM文字多重放送局からメニューデータが発信されていない場合があります。ほかの放送局を受信してみてください。
- しばらくお待ち下さい** : FM文字多重放送局か確認中です。
- 受信できません** : FM文字多重放送局ではない。  
受信状態が悪いため文字情報を受信できない。
- 本番組は走行中表示できません**  
: 走行中表示できない番組（ニュース番組や一般情報番組など）を選択した。  
➡停車後、パーキングブレーキをかけてから再度その番組を選択してください。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていたき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より **1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。  
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)  
実用感度 (S/N:30 dB)  
S/N 50 dB感度  
周波数特性 (±3.0 dB)  
S/N比  
選択度 (±400 kHz)  
ステレオセパレーション

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)  
9.3 dBf (0.8  $\mu$ V/75  $\Omega$ )  
15.2 dBf (1.6  $\mu$ V/75  $\Omega$ )  
30 Hz~15 kHz  
75 dB (MONO)  
80 dB以上  
40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)  
感度

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)  
28 dB $\mu$

## MDプレーヤー部

レーザー  
回転数  
ワウ & フラッター  
周波数特性  
高調波歪率  
S/N比  
ダイナミックレンジ  
ステレオセパレーション

GaAlAs(ダブルヘテロダイオード,  $\lambda=780$  nm)  
400~900 rpm (線速度一定)  
測定限界以下  
20 Hz~20 kHz (±1 dB)  
0.005 % (1 kHz)  
93 dB (1 kHz)  
93 dB  
85 dB

## CDプレーヤー部

レーザー  
回転数  
ワウ & フラッター  
周波数特性  
高調波歪率  
S/N比  
ダイナミックレンジ  
ステレオセパレーション

GaAlAs(ダブルヘテロダイオード,  $\lambda=780$  nm)  
500~200 rpm (線速度一定)  
測定限界以下  
10 Hz~20 kHz (±1 dB)  
0.01 % (1 kHz)  
95 dB (1 kHz)  
95 dB  
88 dB

## オーディオ部

最大出力  
定格出力  
ブリアウトレベル  
ブリアウトインピーダンス

47 W  $\times$  4  
29 W  $\times$  4 (4  $\Omega$ , 1kHz, 10%THD)  
1.5 V/10 k $\Omega$   
600  $\Omega$ 以下

## DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター & D/Aコンバーター  
イコライザー中心周波数  
可変範囲

3次 $\Delta\Sigma$ 方式20bit128倍オーバーサンプリング  
60/120/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz  
±12 dB (±6 STEP)

## 電源部

電源電圧  
最大消費電流

14.4 V (11~16 V)  
10 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W  $\times$  H  $\times$  D)  
質量 (重さ)

178  $\times$  100  $\times$  155 mm  
3.3 kg

## 付属部品

電源ハーネス  
トラスネジ (M5  $\times$  6mm)  
バインドネジ (M4  $\times$  8mm)  
リモコン  
電池 (単4型)  
パーキングセンサー中継コード (DPX-9100Mjiのみ)  
中継コネクタ (DPX-9100Mjiのみ)

1本  
6本  
1本  
1個  
2本  
1本  
1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室（東京） 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9  
（大阪） 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22  
受付時間9:20～17:40（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。